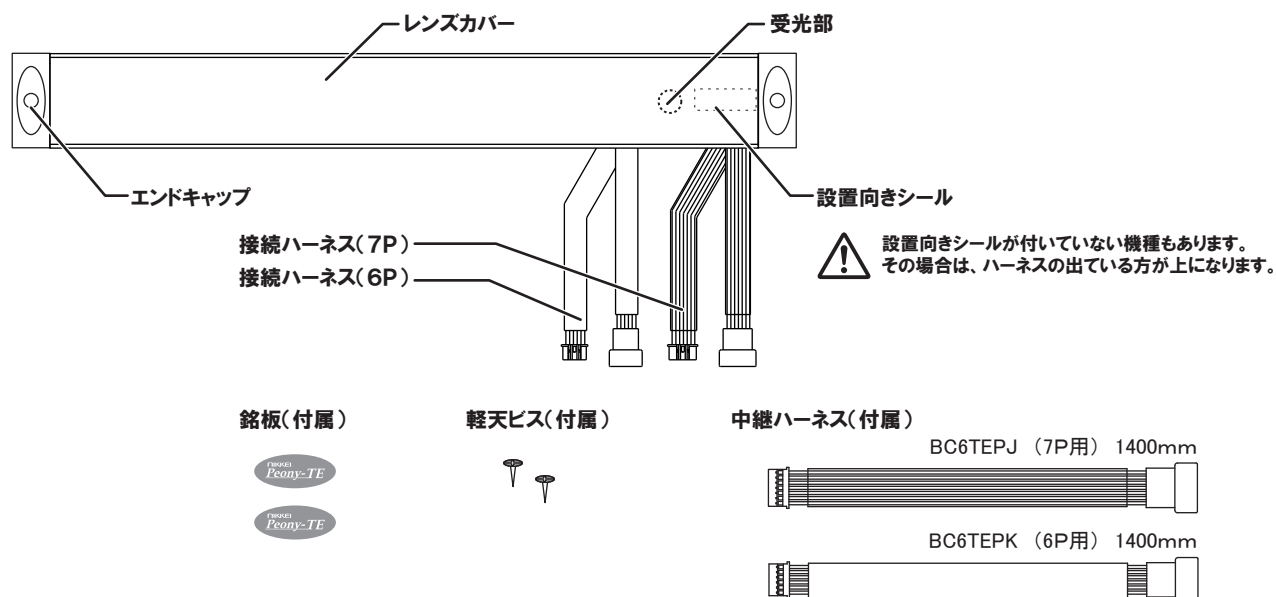
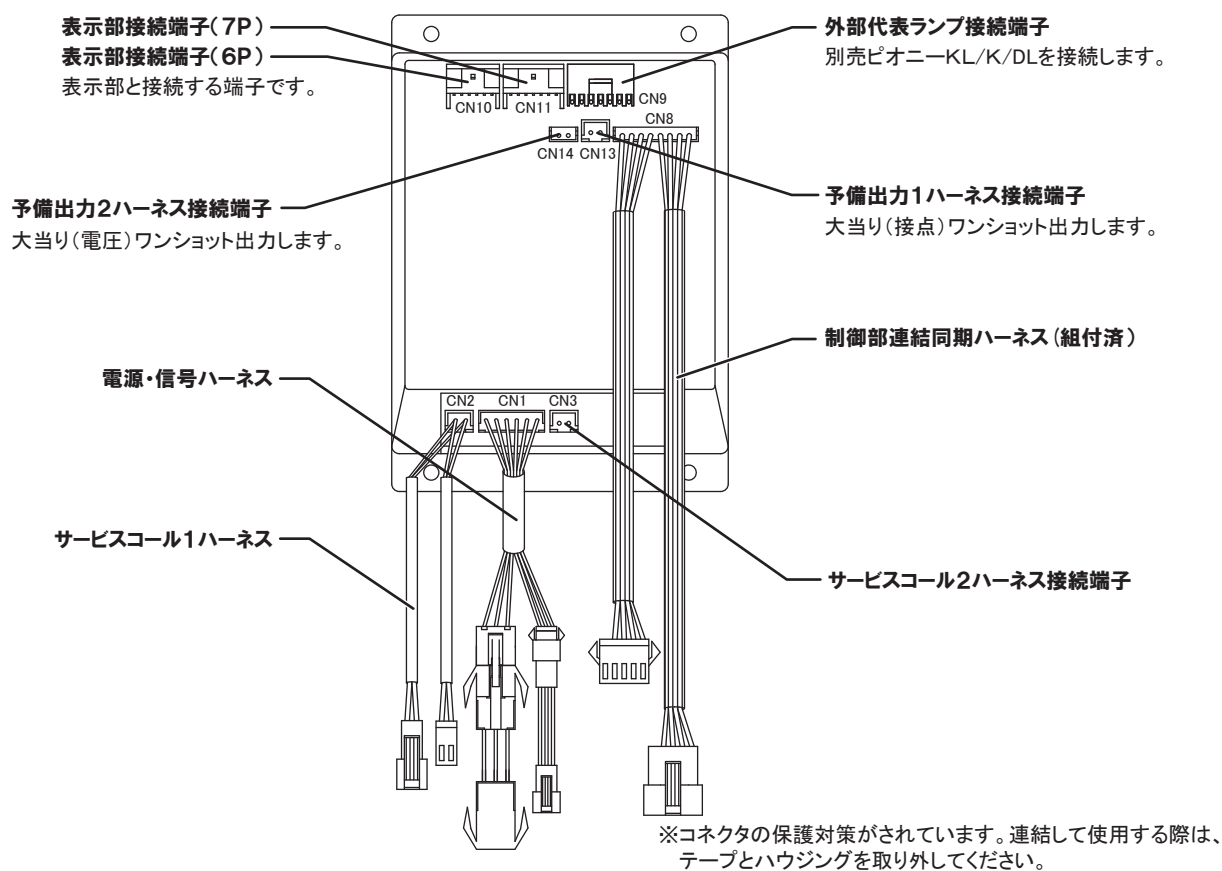


各部名称と機能

表示部 TE6LJS□□



制御部 TE6CA



関連部品(別売品)

- 台座 A8265□ ※□: 数字
- サービスコール2ハーネス BC2FQ (赤黄)
- 予備出力1ハーネス BC6UAD
- 予備出力2ハーネス BC6VAG
- カードリモコン YZ6X4, YZ6X5
- トランスコード BC6DT

基本仕様

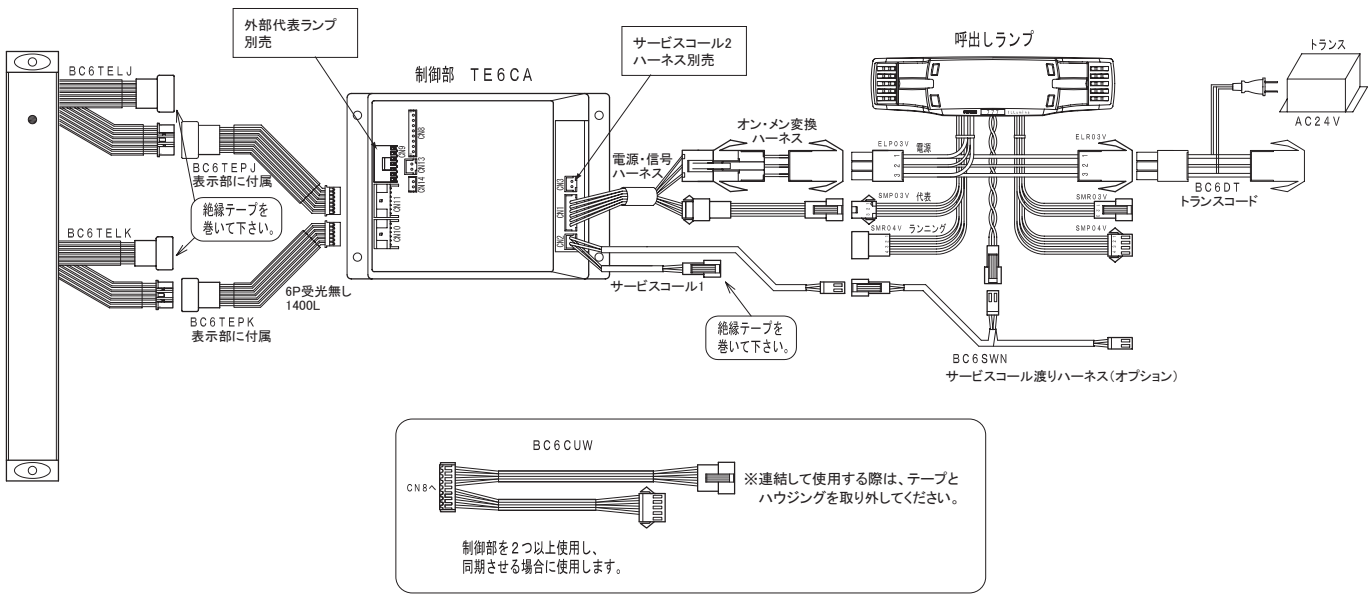
- 電源電圧: AC24V
- ランプ部: 高輝度LED ●屋内仕様 ●縦横自由
- 表示部: W50 × L250 ~ 1850 (200mm間隔) × D43mm
- 制御部: W89 × H126 × D26mm

取付・配線方法

システム配線図

本製品の配線概略図は次の通りです。

※下図は、表示部単体接続の場合です。



⚠ 注意

- ◎作業は、必ず電源を落としてから行ってください。
- ◎制御部を島中に固定する際は、熱を逃すように、制御部を縦にして取り付けてください。

●消費電力

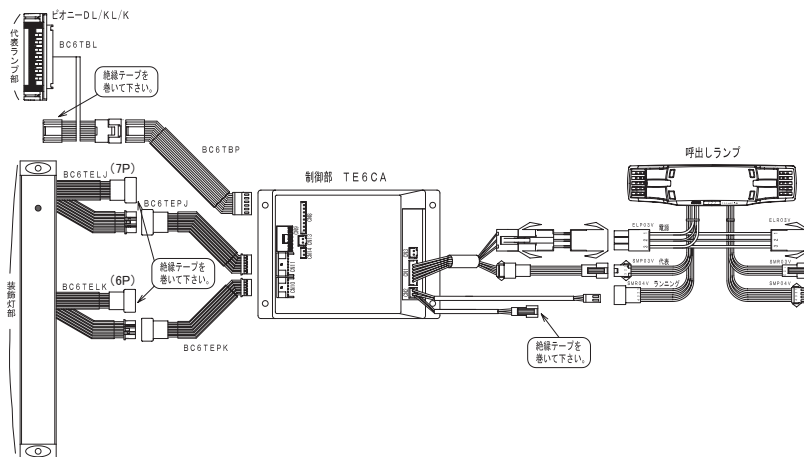
製品	消費電力 (表示部1台接続の場合)
TYPE1 (250mm)	3VA
TYPE2 (450mm)	5VA
TYPE3 (650mm)	7VA
TYPE4 (850mm)	8VA
TYPE5 (1050mm)	10VA

※上記以外のタイプについては、お問い合わせください。

使用形態

1.「代表ランプ(ピオニー-K/KL/DL)」+「装飾灯」

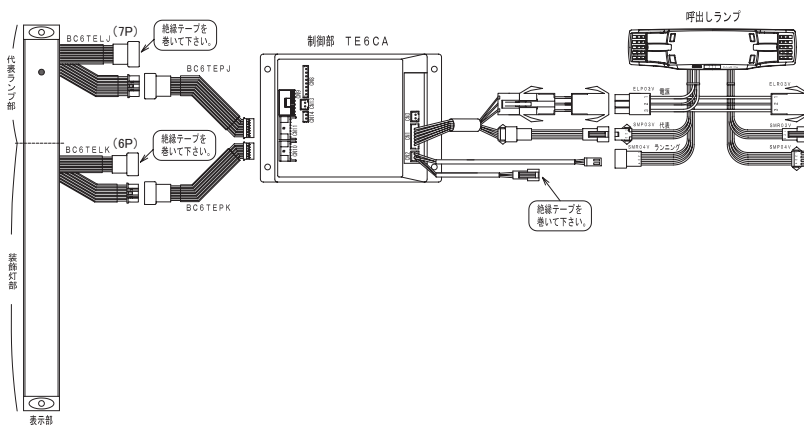
ピアノキーKLなどの外部代表ランプとともに使用し、ピアノTEは裝飾灯として使用する形態です。
代表ランプを接続させるため、必ず呼出しランプの信号を入力させます。そのため裝飾灯も呼出しランプからの信号に合わせ点灯・点滅表示をします。



2. 「代表ランプ部」+「装飾灯部」

1つのピオニーTEの上部を代表ランプ部、下部を装飾灯部として使用する形態です。

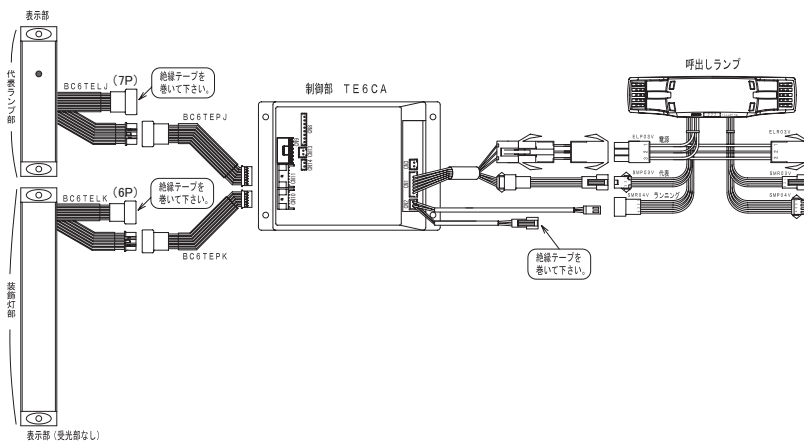
代表ランプとして機能させるため、呼出しランプからの信号を入力させます。通常時や信号入力時の点灯・点滅を代表ランプ部と装飾灯部で分けて表示させる、させないなどは、同期の設定(F4ボタン)を行ってください。



3.「代表ランプ」+「装飾灯」

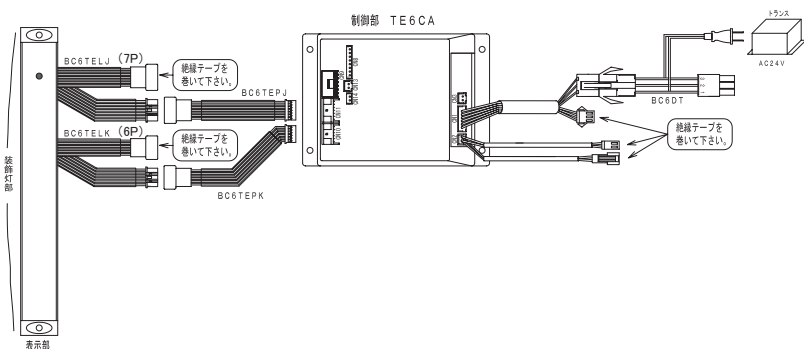
長さの違うピオニーTEを2つ使用します。短いほうを代表ランプ、長いほうを装飾灯として使用する形態です。

代表ランプとして機能させるため、呼出しランプからの信号を入力させます。通常時や信号入力時の点灯・点滅を代表ランプと装飾灯で別の表示にさせる、させないなどは、同期の設定(F4ボタン)を行ってください。



4.「裝飾燈」

装飾灯としてのみ使用する形態です。呼出しランプの信号入力は必要ありません。必ず同期の設定(F4ボタン)を①同期するに設定してください。

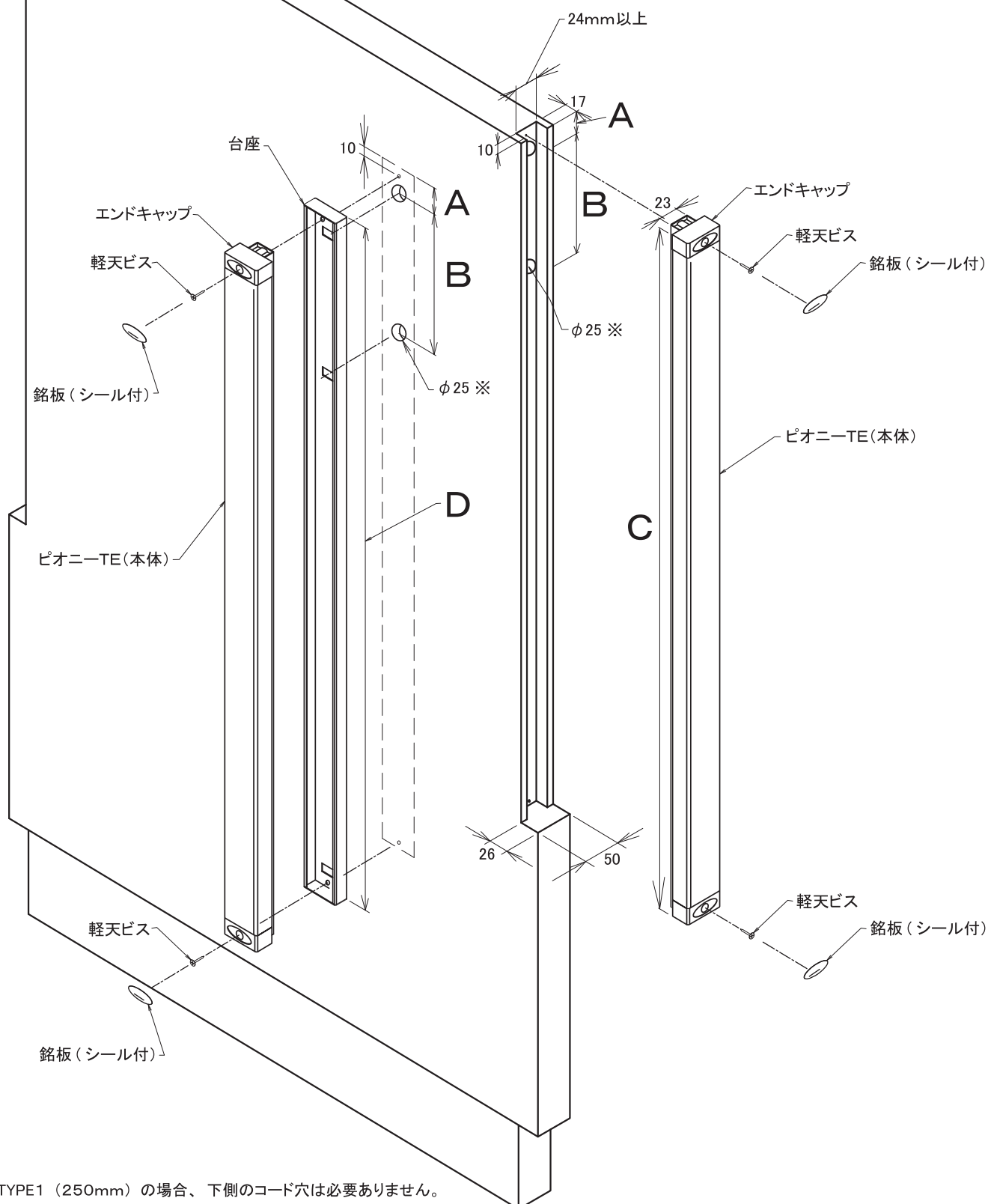


取付方法

■妻板幅50mmの場合の取付例

	A	B	C (製品寸法)	D (台座外形寸法)
TYPE 1	30.5	-	250±1	250
TYPE 2	30.5	186	450±1	450
TYPE 3	30.5	186	650±2	650
TYPE 4	30.5	186	850±2	850
TYPE 5	30.5	186	1050±3	1050

※TYPE1は、A側のコード通し穴(φ25)1箇所のみになりますので、B寸法がありません。



※TYPE1 (250mm) の場合、下側のコード穴は必要ありません。

配線方法

⚠ 注意

- ◎電源を入れたままのコネクタの抜き差しは、保護回路が働き電源供給がストップします。必ず電源を切って作業してください。
電源供給がストップした場合は、電源の入れ直しを行ってください。※ヒューズ(4A)による保護回路設計になっています。
- ◎制御部を島中に固定する場合は、放熱しやすいように縦にして設置してください。
- ◎ノイズを受けやすい場所では、誤作動する恐れがあります。

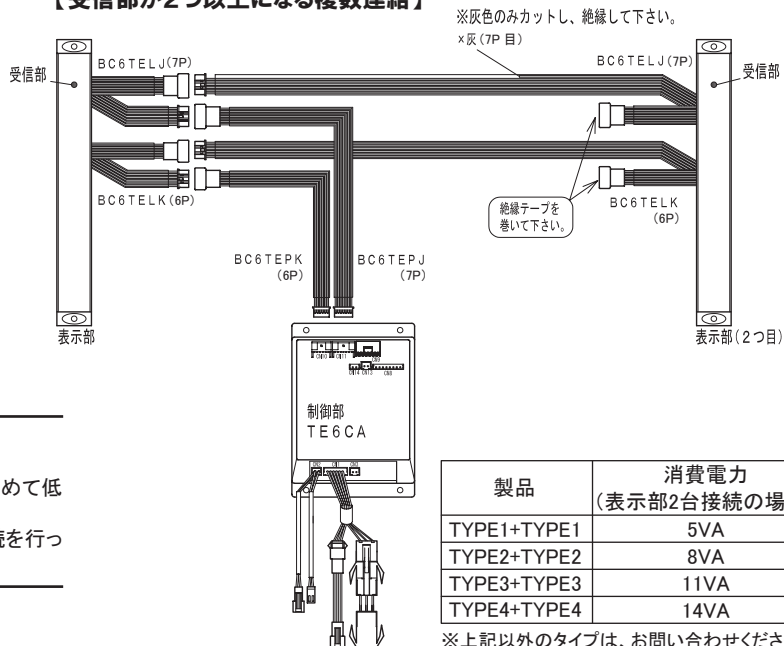
■表示部との配線

付属の中継ハーネス(7ピン用と6ピン用)を使用して、制御部と表示部を接続します。制御部側の受けのカブラは決まっていますので、先に制御部側を接続することでオス・メスの差し間違えを防げます。
ひとつの制御部で最大9基板の制御ができます。表示部機種名の前から8番目の数字が基板数になります。
6基板以上接続する場合は、イルミの常時点灯モードはなるべく避けてください。特にイルミ3設定は、容量オーバーになりますので注意してください。

受信部が2つ以上になる複数連結では、リモコン受信感度が極めて低くなるため、右図のように、2つ目以降の受信基板ハーネスの7ピン(灰色)線をカットしてください。

また、インバーター蛍光灯等の直下では、受信感度が落ちる場合があります。

【受信部が2つ以上になる複数連結】

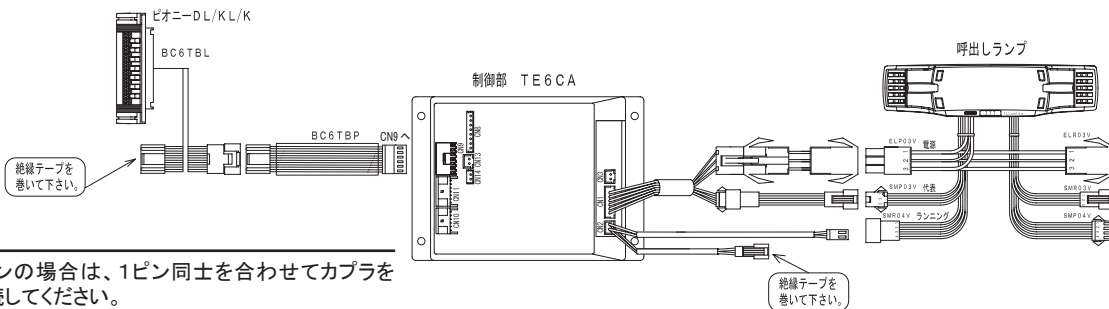


⚠ 注意

受信部が2つ以上になると、お互いに影響し合い、受信感度が極めて低くなります。
2つ目以降の受信基板ハーネスの7ピン(灰色)をカットして、接続を行ってください。

■外部代表ランプとの配線

外部代表ランプ表示部に付属の中継ハーネスBC6TBPを使用して、制御部に接続します。

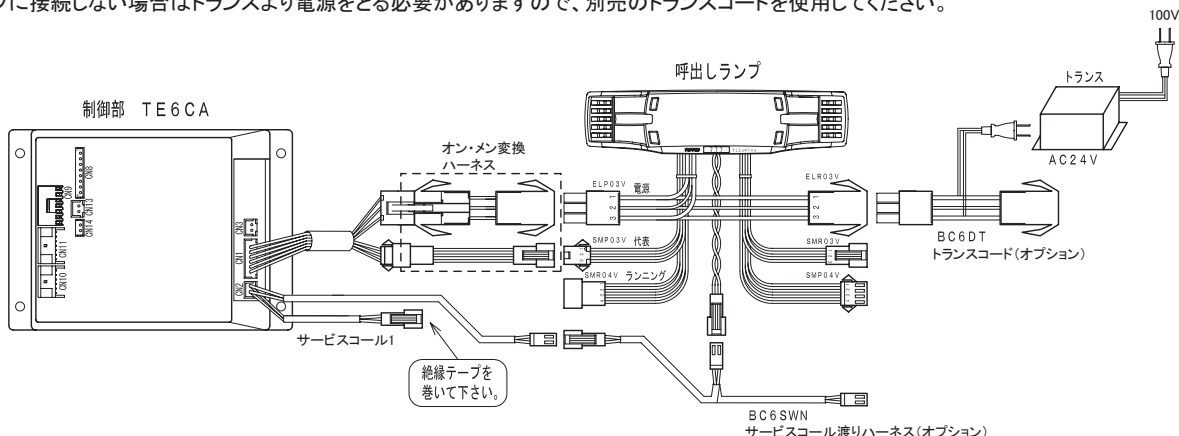


⚠ 注意

CN9が7ピンの場合は、1ピン同士を合わせてカブラをずらして接続してください。

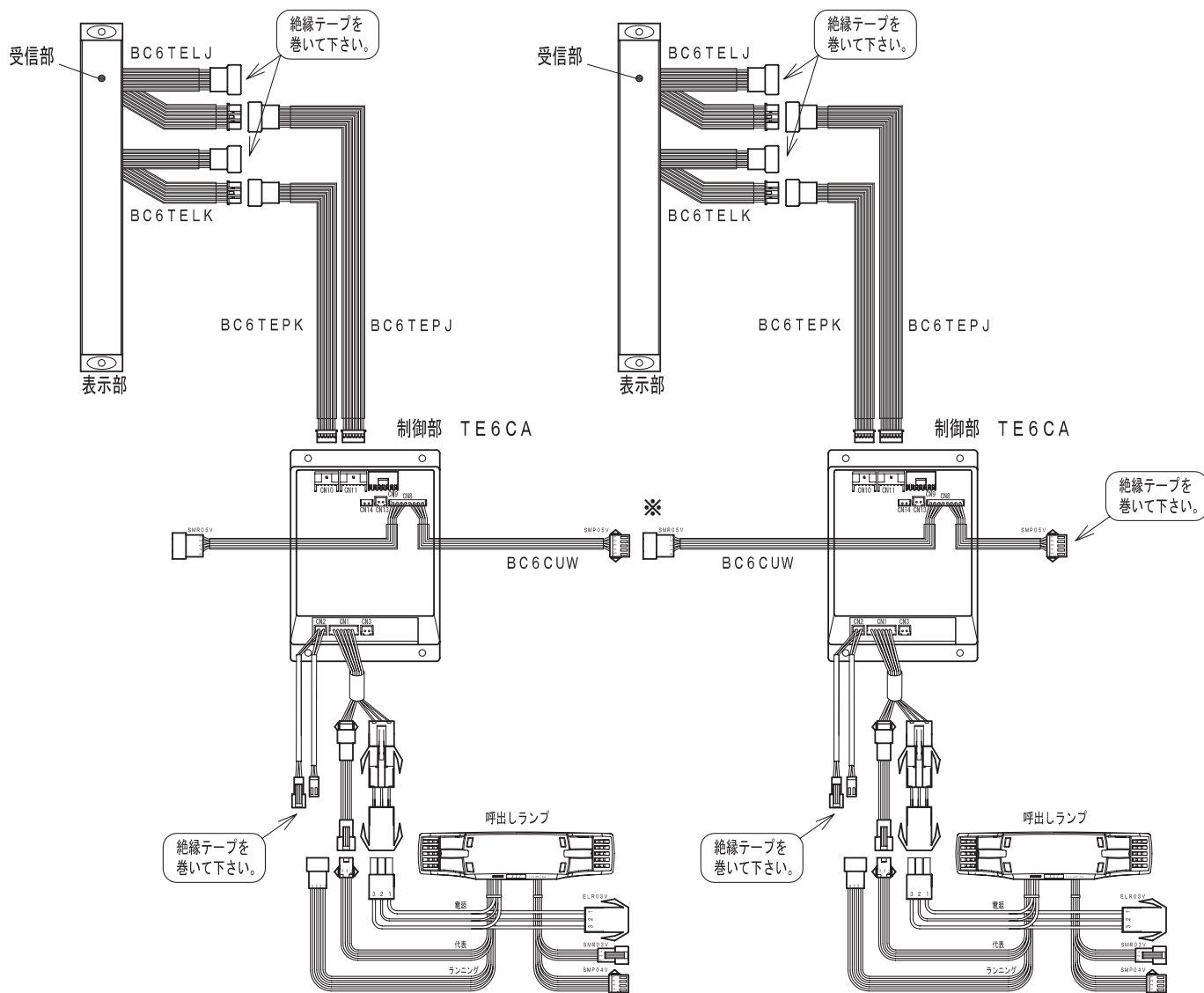
■呼出しランプ及びトランスとの配線

呼出しランプに接続する場合、付属のオン・メン変換ハーネスでカプラ合わせをしてください。
呼出しランプに接続しない場合はトランスより電源をとる必要がありますので、別売のトランスコードを使用してください。



■同期制御での配線

制御部連結同期ハーネスを使用して、複数の制御部を連結して、互いに同期制御することができます。最大40台まで連結同期できます。
※連結部のテープとハウジングは、取り外してください。



■予備出力の配線

別売の予備出力ハーネスを使用することで、大当り時にワンショット信号が得られます。

